

スクールトピックス



野口博士の生家で団子挿しを行う児童

野口博士生家で団子挿し 翁島小学校

翁島小学校の1年生と3年生の児童計24人は1月10日、野口英世記念館内の野口博士の生家で小正月の伝統行事「団子挿し」を行いました。

野口英世記念会の八子弥寿男理事長が「今年一年の生家の無事と児童の皆さんが元気に勉強できるよう願っています」とあいさつ。児童は、思い思いの願いを込めながら、大きなミズキの木に団子やお菓子、ミカンなどを飾り付けました。

さとうきび親善大使と交流 長瀬小学校

「さとうきび親善大使」を務める沖縄県北中城村立島袋小学校6年生の前原大翔さんと我喜屋雄大さんは1月16日、長瀬小学校を訪れ、クロスカントリースキーや雪遊びなどを通して長瀬小の児童と交流を深めました。歓迎会では、親善大使の2人が沖縄の伝統芸能「エイサー」を披露。長瀬小の児童がマーチング演奏で歓迎しました。我喜屋さんは「沖縄ではできない良い体験をすることができました」と感想を話しました。



長瀬小の児童と交流を深めた我喜屋さん(前列左から2人目)と前原さん(前列中央)



手紙などが入った宝箱に鍵を掛ける児童ら

12年後の自分へ手紙 小学校6年生

12年後の自分に宛てた手紙などを宝箱に入れる「えとタイムカプセル埋設式」は12月19日、猪苗代ハーブ園で行われ、町内の小学校6年生の児童112人が参加しました。式では、猪苗代の子どもの夢を応援する会の鈴木長治会長らがあいさつ。児童を代表して翁島小学校の高橋知己さんと野口みのりさんが将来の夢を発表しました。児童は手紙などを入れた宝箱に鍵を掛け、その鍵を入れたカプセルを同園内に埋設しました。

献血への協力を呼び掛ける 猪苗代高校

猪苗代高校JRCインターアクト委員会の生徒5人は12月25日、「全国学生クリスマス献血キャンペーン」の一環として、町役場で行われた献血に合わせてボランティア活動を行いました。

生徒たちは、広報車で町内の人たちへ献血の協力を呼びかけたり、献血をした人に記念品などを手渡したりしました。3年の工藤清香さんは「たくさんの人たちに協力を呼び掛けたいです」と話しました。



献血協力者に記念品を手渡す猪苗代高校の生徒

笑顔でこんにちは



左から太一さん、長女の愛結ちゃん、結夢ちゃん、三女の結心ちゃん、智菜美さん

結夢ちゃんの名前には「人との出会いや経験が、結夢の夢につながるように」というパパとママの願いが込められています。

古川 結夢 ちゃん

平成26年4月生まれ
～今泉

太一さん・智菜美さんご夫妻の次女

甘えん坊の結夢ちゃんは、ママの智菜美さんとパパの太一さんが大好き。パパとママが休みの日は、結夢ちゃんは両親とずっと一緒に過ごします。子ども園へ行くときも、結夢ちゃんも、智菜美さんから離れたくなくて泣いてしまうそうです。

結夢ちゃんは、人形の着せ替えや妹の結心ちゃんと塗り絵をして遊びます。「結夢は塗り絵が上手で、線からはみ出ないように丁寧に塗るんですよ」と智菜美さんは嬉しそうに話します。最近では、姉の愛結ちゃんと追いかけて遊ぶのが大好きです。

智菜美さんは「思いやりのある優しい人になってほしいです」と話します。太一さんは「素直でまっすぐな人になってほしいです」と話し、結夢ちゃんに優しく微笑みかけました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当までお申し出ください。

☎(62)2111

地域おこし協力隊通信

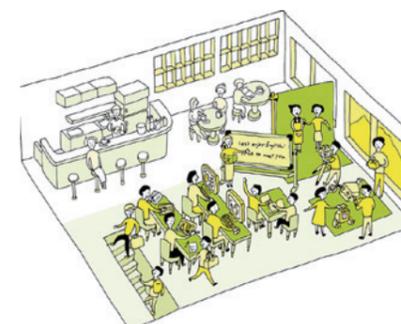
私たちが地域を元気に！
地域おこし協力隊

遠藤 孝行 さん

主な活動内容：ふるさと納税、地域振興



ホームページQRコード



完成後イメージ

私は地域おこし協力隊としてふるさと納税と地域振興の業務を担当していますが、その一方で一般社団法人福島ブースターの代表理事としても活動しています。

磐梯山や猪苗代湖に代表される、これだけ豊かな自然に恵まれて育った子どもたちが「良い学習機会がない」といった理由で猪苗代を離れてしまっているのはとても悲しいことだと感じています。

そんな子どもたちを支援すべく、好きなことをとことん伸ばせる学習支援所「集まりいな(仮)」を今年8月に開始する予定です。しかし、開始にあたっては学習環境の整備が必要になり、そのための資金が不足しています。このたび、福島ブースターの活動の一環として町内に子どもたちの学習支援の場所を作るべく、クラウドファンディングを開始しました。

「レディーフォー 猪苗代 サードプレイス」とインターネットで検索すると私のプロジェクトページにアクセスできます。賛同いただける方はご支援をいただけますと幸いです。